

小山 穂太郎(美術学部油画)

『空間 / 療養所の窓 / 夕刻の景』のエピソード

1989年の軽井沢高輪美術館(現セゾン現代美術館)のグループ展で出品した写真の作品「空間 / 療養所の窓 / 夕刻の景」は、高さは1.6m程ですが、横の長さは8 mになります。8枚のプリントを横に並べて組み合わせてあるのですが、当時から、組み合わせで大きな画面を作る際に、全体像を見ずに断片を作って行くやり方をしている、特にこの作品では、その方法が徹底していたことを思い起こしています。調整をせずに、その瞬間の行為を即決定して行い、そのまま提示したことで、ある種の迫力も感じる事ができたように思います。

同時に、展示ギリギリまで制作の作業をするようになっていて、ここでも設置中、オープニングの前日に出来上がるというスケジュールで作っていました。当然、カタログには当の作品は載っていないわけですが、2002年の栃木県立美術館での個展「Phantom」では、最初の室に展示し、このカタログには掲載されています。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)